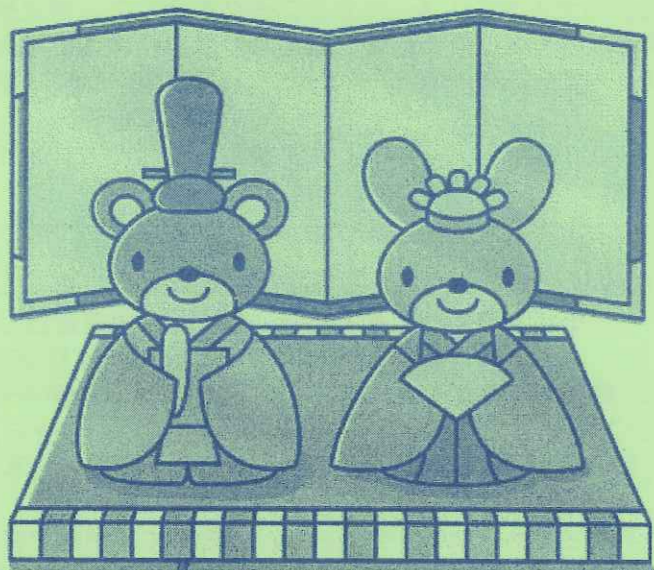


かきのき

ひな祭り



2016年
3月号

～目次～

- ◇ 新しい本のご案内
- ◇ 特集：あのとき、きょう、みらい
- ◇ こんな本あんなほん
- ◇ 柿木図書館カレンダー
- ◇ 掲示板

杉並区立柿木図書館

杉並区上井草 1-6-13 ☎03-3394-3801

杉並区立図書館ホームページ

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

◇新しい本のご案内

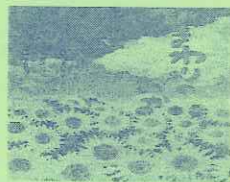
<p>マナーの正体 逢坂剛ほか：著 ／中央公論新社</p> <p>味噌汁のマナー、おごられるマナー、ロック歌手のマナー……。意外と知らない「たしなみ」を13人の作家、歌手らとともに考える新たなマナー考。「読売新聞」掲載を単行本化。</p>	<p>古文書はいかに歴史を描くのか フィールドワークがつなぐ過去と未来 白水智：著 ／NHK出版</p> <p>甲州早川や信州秋山等でのフィールドワークを通して、歴史研究の舞台裏としての史料調査とは何かを明らかにし、古文書の調査・整理方法について具体的に論じる。古文書から紡ぎだす、生きた歴史学への試み。</p>	<p>トコトンやさしい液晶の本 鈴木八十二・新居崎信也：著 ／日刊工業新聞社</p> <p>液晶とは、どんなもの？液晶ディスプレイは何と何でできているのか？液晶画面を見やすくする方法って？液晶の種類としくみ、開発・製造技術などについて、イラストを使ってわかりやすく紹介します。</p>	<p>土地の精霊 四方田犬彦：著／筑摩書房</p> <p>現代と過去のあいだに、土地の精霊（ゲニウス・ロキ）が顕れる。比較文学研究家が三大陸をめぐる未知なる土地、未知なる歴史、未知なる神々について綴る。「webちくま」掲載に書き下ろし等を加えて書籍化。</p>
<p>どうぶつたちの贈り物 小川洋子ほか：著 ／PHP研究所</p> <p>ペンネームに「動物」がひっそり隠れた作家が紡ぐ、「動物」をテーマにした物語。東川篤哉「馬の耳に殺人」、似鳥鶏「蹴る鶏の夏休み」、小川洋子「黒子羊はどこへ」など、全5編を収録。</p>	<p>TPPがビジネス、暮らしをこう変える 環太平洋経済連携協定 日本経済新聞社：編 ／日本経済新聞出版社</p> <p>TPPの条文には、日々の買い物から海外旅行や出張まで、私たちの営みを変えてゆく内容も多く含まれている。時として専門的で複雑なTPPの内容や影響を、わかりやすく解説する。</p>	<p>イヌとネコのふしぎ101 いちばん身近な動物たちの体と行動と心のなぜ 武内ゆかり：文 福田豊文：写真 ／偕成社</p> <p>イヌはなぜうれしそうに舌をふるの？ネコはなぜ爪とぎをするの？家で飼っていたり、公園などでもよく見かけたりする身近な動物・イヌとネコについての、だれもが感じる素朴な疑問に答えます。</p>	<p>図説ナポレオン 政治と戦争—フランスの独裁者が描いた軌跡 松蔭明男：著／河出書房新社</p> <p>ナポレオンによってフランス人の心性はどう変化したのか？気鋭の学者が、全ヨーロッパを駆け抜けた「ナポレオン」の生涯をたどり、伝説の数々を読み解く渾身のナポレオン論。絵画や地図などの図版が満載。</p>
<p>ホッキョクグマくん、だいじょうぶ？ 北極の氷はなぜとける ロバート・E. ウェルズ：作 せなあいこ：訳 ／評論社</p> <p>北極の氷がとけると、どうしてホッキョクグマが困るんだろう？どうして氷がとけだしてしまうんだろう？どうして北極は、昔よりあたたかくなっているんだろう？地球温暖化について学ぶ科学絵本。</p>	<p>スタイリスト佐藤かなが作る女の子に着せたい毎日の服 佐藤かな：著 ／文化学園文化出版局</p> <p>ファスナーもボタンホールもなしで簡単！ゆったりトップス、切替えワンピース、すっきりパンツ……。小さな女の子に着せたい、かわいくて実用的な洋服の作り方を紹介。一年中使えるコーディネート実例55も掲載。</p>	<p>マンモスのつくりかた 絶滅生物がクローンでよみがえる ベス・シャピロ：著 宇丹貴代実：訳／筑摩書房</p> <p>絶滅したマンモスのDNAからクローンを作り、野生に放つ—それは本当に可能か？「マンモスパーク」実現に向けて、日夜奮闘する科学者が、現実味から問題点まであなたの疑問に熱く答えます。</p>	<p>ドストエフスキー カラマーゾフの預言 ／河出書房新社</p> <p>「新カラマーゾフの兄弟」の刊行を機に不滅の文学者の新しい魅力を多面的に探った一冊。「新カラマーゾフの兄弟」著者・亀山郁夫のインタビュー、亀山郁夫×中村文則の対談、三田誠広のエッセイ、主要作品解説等を収録。</p>

特集：あのとき、きょう、みらい



ふくしまの子どもたちが描く
あのと、きょう、みらい。

福島相馬の小学生たち：絵
蟹江杏+佐藤史生：編／徳間書店
地震、津波、原発・・・福島の子どもたちが震災直後から描いてきた故郷の絵をカラーで収録。震災の翌日から始めた「被災地の子どもたちに絵本と画材を！」プロジェクトから生まれた本。



ひまわりのおか

ひまわりをうえた八人のお母さんと葉方丹：文
松成真理子：絵／岩崎書店
宮城県石巻市立大川小学校を大きな津波が襲いました。お母さんたちは、そっとひまわりに約束しました。
「もう泣かないからね」やくそくできない、やくそくだけど。



ともしび

被災者から見た被災地の記録
シュープレス：編・著／小学館
震災直後から多くの被災者の言葉に耳を傾け寄り添い、その思いを発信し続けてくれたのは、被災地の新聞社でした。情報が乏しい震災下で翌日から配送された新聞を、私たちはどんなに心強く感じたでしょうか。極限状況の中で輝いた勇気や希望、命、心。それらの「ともしび」を絶やすことのないように・・・。

ご先祖さまも被災した
震災にむきあうお寺と神社

小滝ちひろ：著
岩波書店

東日本大震災の津波被害、原発事故の渦中で、地域の中核であるお寺や神社は被災者や支援者とともにどのように歩んできたのか。地元の再建に奔走する多くの僧侶や神職の思い、苦しみと怒り、覚悟と希望をルポ。



めざせ！災害救助犬
被災犬「じゃがいも」の挑戦

山口常夫：著／岩崎書店
震災がなければ、普通の犬だったはず・・・。
今や災害救助犬として、ふるさとの復興の大使として活動する犬になりつつあります。
試験に落ちても落ちてもあきらめず、合格を目指す被災犬の物語です。



家族で学ぶ地震防災はじめての一步

大木聖子：著／東京堂出版
この本には、地震の時に「まさか！」ではなく「いつ起こってもだいじょうぶ」になることができる知恵をたくさん盛り込みました。家族やお友達と一緒に読んでください。みなさんのその行動が、いつかきっと、大切な人の命を守ってくれるでしょう。



それでも、海へ
陸前高田に生きる

安田菜津紀：写真・文／ポプラ社
「じいちゃんがとってきた白いお魚がもう一回食べたい」
孫の一言に背中を押され、漁師は再び海に出た。2011年3月11日に起きた津波によって、一度は海に出るのをやめた漁師が再び海に出る物語。

3.11を心に刻むブックガイド

草谷桂子：著／子どもの未来社
東日本大震災後、人々が負った深い傷から血が吹き出るように、数々の本が出版された。「あの日を忘れない」ために、家庭文庫を30年以上主宰している著者が、子どもの本を中心とした3.11に関する本300冊を紹介する。

◇こんな本あんなほん



作って楽しむつるし雛

さげもん、雛のつるし飾り、傘福

下田美知子、森幸枝、酒田商工会議所女性会：監修
／誠文堂新光社

幸せになってほしい、健やかに育ててほしい・・・。

そんな、願いを込めて作り上げる伝統のつるし雛。

簡単なものから難易度の高いものまで、60個のアイテムを集めてみました。
出来上がった細工物は、つるして飾ったり、置いて眺めたり、あなたのセンスで楽しんでください。



考える練習をしよう

マリリン・バーンズ：著 マーサ・ウェストン：絵
左京久代：訳／晶文社

君の頭の中には、どんな問題だって取り組むことができる
「道具」が備わっている。その「道具」を使いこなすには、
こわばった頭を解きほぐすことが必要だ。先入観をぶち壊せ！
センスを磨くんだ。コツを覚えよう。



今、ふたたびの京都

東山魁夷を訪ね、川端康成に触れる旅

東山魁夷・川端康成：著 平山三男：編纂／求龍堂
東山魁夷の描いた絵で京都を旅し、川端康成の文章で京都を味わう。
じっくりと「京都」を楽しむために、日ごとに移り変わり、
消え去っていく情報ではなく、日本を代表する画家と小説家の「作品」で京都を紹介。
心の旅をするのもよし、京都に出かけるのもよし



図説東京大空襲

早乙女勝元：著／河出書房新社

小松崎茂ほか原体験者の絵画と未公開写真で再現する東京大空襲の実相。
日米・国立公立文書館の秘蔵写真400余点を公開。



そっといちどだけ

なりゆきわかこ：作
いりやまさとし：絵
／ポプラ社

あなたをまもるのが
わたしのしあわせ

盲導犬ステラ。目が不自由なアカネさんとの出会いから、一緒に生活をした日々、そして年老いて引退（別れ）のときまでのお話です。
盲導犬の仕事はパートナーを守ること、守ることができなくなった時は引退のとき・・・。

§お父さんの読み聞かせ§

うんこ!



うんこ

サトシン：文 西村敏雄：絵
／文溪堂

犬が道端でうんこをした。近寄ってくる動物はみんなうんこの臭いをかぐと「くっさーい！」と逃げていく。くやしくなったうんこは・・・。

「うんこ」のダジャレも使ったユーモラスな絵本です。

=きょうは何の日=

3月10日 「東京大空襲」を知っていますか

1945年（昭和20年）3月10日未明、アメリカ軍のB29爆撃機が東京上空に侵入、現在の江東区・墨田区・台東区を中心に焼夷弾が投下され、下町一帯は焼き尽くされ、約10万人の市民が犠牲になりました。

3月13日 「青函トンネル開業」

1988年（昭和63年）青函トンネルを通るJR津軽海峡線が開業。全長53.85km、43%が海底という世界最長の海底トンネルの開通に伴い、青函連絡船が80年の歴史に幕を閉じました。



◇柿木図書館カレンダー



3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
<u>6</u>	7	8	9	10	11	12
<u>13</u>	14	15	16	17	18	19
<u>20</u>	<u>21</u>	22	23	24	25	26
<u>27</u>	28	29	30	31		



…休館日

下線 …午後5時閉館

【開館・貸出時間】

月曜～土曜 … 午前9時～午後8時

日曜・祝日 … 午前9時～午後5時

【休館日】

第1月曜日・第3木曜日

(祝日と重なったときは翌日が休館日となります。)

◇掲示板

展示：日本の鉄道

鉄道が開通し100年以上たち、日本は世界でも有数の鉄道先進国になりました。今年の三月には北海道新幹線が開通する予定です。

4月3日(日)まで

公演：人形劇団こばん

公演：3月12日(土) 午後2時から／図書館(講座室)

「ブレーメンのおんがくたい」ほか

対象：三歳以上のお子様と保護者

定員：50名／先着順

柿木図書館カウンター又は電話で申し込みください